

## 野島公園ボタン立ち枯れ調査と予防処置作業報告

【寄稿：執行委員・神奈川県理事 長谷川芳男】

5月23日(木)、野島公園(〒236-0025 神奈川県横浜市金沢区野島町24)博文邸ボタンの立ち枯れの調査と、予防処置を施工しました。公園内にある約240株の中で3株が枯れ、1株は伐採されていました。

掘起こしてみると、根はボロボロで溶けた状態です。シロモンパと思われる菌糸が確認できます。(図1) 持ち帰り確認することにしました。

### 【予防処置】

顕微鏡で見ると、シロモンパ病の特徴的な「菌糸のコブ状のふくらみ」が確認できます。(図2・顕微鏡写真)。全株の幹に、セラCをEM活性液(塩分2.5%)でドロドロの状態に溶いて刷毛で塗布しました。(図3)

全株の根もとに、EM活性液(塩分2.5%)10倍希釈EM3S100分の1、セラc1000分の1を添加、200ℓを根もとに散布(1株約0.8ℓ)しました。(図4・図5)

次回も同様に散布することにしました。毎週散布の時もEM3Sを添加します。



図1

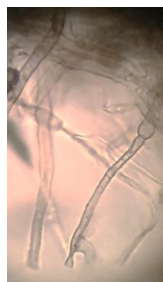


図2



図3



図4



図5

### 【土ぼかし作り】

材料：土6 モミガラ燻炭2 米糠ボカシ2 糖蜜 EM活性液 セラC

今回：土60ℓ モミガラ燻炭20ℓ 米糠ボカシ20ℓ 糖蜜1ℓ、活性液10ℓ

1～2週間で、発酵して菌糸を確認してから根もとに3～4か所穴を掘り、移植ゴケ山盛りを入れる。(図6)

活性液の葉面散布、土ぼかしはバラの、病害虫予防にも効果があります。

### 【マツの診断】

バーベキュー広場：原因は不明であるが完全に枯死している。

展望広場：強剪定のため衰弱。やがて枯死すると思う。



図6

### U-ネット広報委員会からのお知らせ

U-ネット広報委員会では、善循環の輪通信に掲載させていただく記事を全国の会員のみならず募集いたします。

会員の皆様にお知らせしたいEM活用事例などがございましたら、原稿を1,000文字以内でご執筆いただき、2～3枚のお写真を添付して、電子メールで下記まで送ってください。電子メールの件名は「善循環の輪通信の原稿」としてください。

原稿の送り先メールアドレス： [info@unet.or.jp](mailto:info@unet.or.jp)

なお、お送りいただきました原稿をすべて記事化できない場合がございますのでご了承ください。

また、記事化のための取材にもお伺いいたします。こちらも上記メールアドレス ([info@unet.or.jp](mailto:info@unet.or.jp)) にご連絡をお願いいたします。